

2021年3月18日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

移住創業者のうち都市部から地方への移住は5%

～「2020年度起業と起業意識に関する調査(特別調査)」アンケート結果の概要～

本調査では、「移住創業者」を全国から抽出し、その実態や取り組みを調べました。「その他の創業者」や「移住勤務者」などと比較するほか、移住先が地方か都市部か、移住先とのゆかりがあるかないかを軸に分析を行っています。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

※調査対象の定義は本文1ページを参照

<主な調査結果>

1 移住創業者の移住先は、地方よりも都市部が多い(本文2ページ)

移住創業者の移住元・移住先地域は、回答のあった466人のうち地方から都市部が197人(42.3%)と最も多く、地方から地方が124人(26.6%)、都市部から都市部が122人(26.2%)である。都市部から地方は23人(4.9%)と少ない。移住前から現在のエリアにゆかりのあった「キャリア移住」は、57.5%を占める。

2 移住創業者の移住のきっかけは「結婚」、現在のエリアを拠点に選んだ理由は「交通の便がよいから」が多い(本文5～8ページ)

移住創業者が現在のエリアに移り住んだきっかけは、「結婚」(15.3%)や「現在の事業を始めるため」(13.7%)などが多い。移住先地域別にみると、地方では「現在の事業を始めるため」「親との同居や近居」「子育て」が相対的に多くなっている。

移住創業者が現在のエリアを拠点に選んだ積極的な理由は、「交通の便がよいから」(18.3%)、「自分の郷里だから」(17.2%)が多い。地方では「自分の郷里だから」「家族や親戚が住んでいる(いた)場所だから」、都市部では「交通の便がよいから」「通勤が楽だから」との回答が多くなっている。

3 移住創業者の満足度は高い(本文24、25ページ)

移住創業者の総合的な満足度は、その他の創業者や勤務者に比べて高い。移住先地域で比べると、地方ではワークライフバランス、都市部では収入に関して「満足」の割合が相対的に高くなっている。

4 都市部在住者のうち移住創業者や移住勤務者は地方への関心が高い傾向(本文26ページ)

現在の生活エリアが都市部の人に地方へ移住したいと思うか尋ねたところ、「移住したい」との回答は移住創業者で22.3%と、その他の創業者(12.4%)に比べて多い。移住勤務者でも24.7%が「移住したい」と回答しており、移住経験者のほうが地方への関心が高いといえる。

<調査の要領> ・調査時点:2021年2月
・調査方法:インターネットによるアンケート

・調査対象:全国の18歳から69歳までの男女
・回収数:1,870人

※本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:桑本、青木)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー